

しまもり

令和5年度
島守小学校
発行
発行日
No. 8
学校だより
八戸市立島守小学校
令和5年11月30日



さらなる未来へ心のバトンをつなぎます！

校長 久保慶喜

島守小学校は、令和5年11月19日で創立150周年を迎えました。それに先立ち、11月18日(土)、体育館において「創立150周年記念式典」が開催されました。本式典は、前任の日山校長先生が発案し、村上壽治様を会長に記念事業協賛会を立ち上げ、PTAが実行委員となって数年間かけて進めてきました。総勢約200名の参加者ととともに盛大にお祝いすることができたのは、とても嬉しい限りです。



当日は、前日からの雨と強風が続くと予報もあり、天候が心配されました。朝、学校へ着いた私は、小雨が降る中、浅田山の方角に手を合わせ、今日一日の無事を願いました。すると、次第に雨が止み、雲の間から朝日が差ししてきました。守られていると感じました。

式典に向けては、保護者による各委員会が様々な企画やアイデアを出し、時間をかけて進めてきました。合同運動会でお披露目した『記念横断幕』をはじめ、記念種目の『親子・地域対抗玉入れ』、子どもたちの自画像で作った『タイムカプセル』、航空写真をもとにした『クリアファイル』、「式典まであと〇日」と数えた『カウントダウンカレンダー』、お祝いに花を添える『手作りくす玉』、120周年記念式典以降の30年間を振り返った『記念誌』づくり、校章を形どった『祝菓』など…。他にも、5・6年生の発案による『水車復活プロジェクト』では、手伝ってもらって板を張り替えたり、水量を確保するためにポンプで水をくみ上げたりするなどして、見事、水車を復活させました。当日は、大勢のお客様が、再び回り始めた水車を眺めるために、裏庭に出ていました。力を貸してくださった元沢様、外館様、本当にありがとうございました。

式典では、約50名という感謝状対象者に、歴史の重みを感じました。また、式辞では、150年間続いてきた島守小の先輩方の素晴らしい活躍や努力、保護者や地域の方々の協力に触れながら、6年の岩織二虹さんが八戸市小学校お話し大会で主張したことを引用し、「島守小のよき伝統を受け継ぐ心」「島守小を愛する心」「島守小を大切に思う心」という3つの心を、さらなる未来へバトンでつなぎましょうと呼びかけました。そして、『よろこびの詩』と銘打った児童による呼びかけでは、「美しい景色に囲まれたこの学校は、私たちの自慢です」「世紀の窓を開きゆくわれら島守小学校に栄あれ」と思いのこもったメッセージを伝えるとともに、『ふるさと』を表情豊かに、美しいハーモニーで合唱しました。そのひたむきな姿は参加者の心を打ち、歌声や姿に涙する方がたくさん見られました。36名という限られた児童数ですが、八戸市長 熊谷雄一様をはじめ、大勢の来賓や参加者の前で堂々と呼びかけを行う姿に、頼もしさと無限の可能性を感じました。歌唱指導をしていただいた加藤先生と丸岡先生に感謝いたします。

式典後は、アトラクションとして、6年生による神楽『番楽』を披露し、全員でくす玉を割り、「おめでとう！」と島守小学校の150歳の誕生日をお祝いしました。知恵を集めた手作りの式典は無事に終了しました。退場の際、廊下でお客様を見送る子どもたちに、「いい式典でした」「感動しました」「ありがとう」とたくさんの声が送られました。

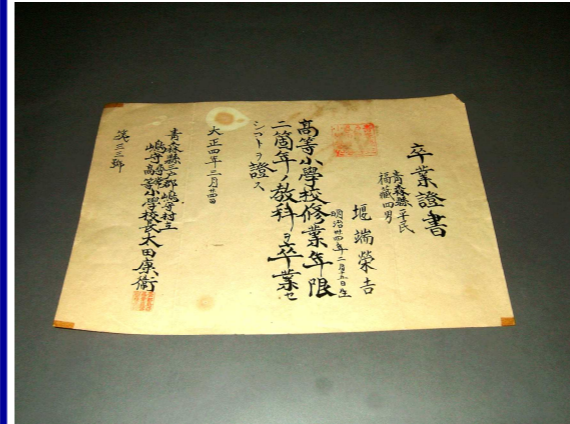
また、夕方から行われた祝賀会には80名を超える参加者があり、30年分の思い出を語り合いました。2時間という時間が、あっという間に過ぎていきました。

式典や祝賀会を通して感じたことは、「島守小学校は、たくさんの方々に愛されている」ということでした。式典では、遠方から参加してくださった方がたくさんいました。コミュニティセンターの椅子やテーブルの運搬では、平日にもかかわらず、協力してくださった方がたくさんいました。日山前校長先生からは、「想像していた以上に素晴らしい式典でした」とお褒めの言葉をいただきました。これもひとえに、創立150周年記念事業協賛会の皆様、趣旨に賛同してご協力いただいた地域の皆様、そして、これまで島守小学校を支えていただいたすべての皆様のおかげです。本当にありがとうございました。このよき歴史と伝統について、私たちは誓います。『私たちは、さらなる未来へ、心のバトンをつなぎます！』と。

12月の行事予定

- | | |
|--------------------------------------|-----------------------------|
| 5日(火) 読み聞かせ | 13日(水) 校内テスト表彰 |
| 6日(水) 登校班反省 | 14日(木) 委員会 |
| 7日(木) クラブ | 15日(金) スケート教室
(県北少年自然の家) |
| 8日(金) 参観日 卓球愛好会臨時総会
移動図書館 14:55下校 | 21日(木) クラブ |
| 12日(火) 集金日
3・4年生 校外学習 | 22日(金) 2学期終業式 13:45下校 |
| | 25日(月) 冬季休業
~1月14日(日) |

島守のお宝(その3)



島守小学校(4)

創立150周年の記念式典、おめでとうございます。とても素晴らしい式典でした。在校生が少なくなった現在こそ、島守小学校の誇りをもって未来に進んで欲しいと思います。

昨年度までの卒業生数、5,450名。伝統を築いた卒業生です。

大正4年の嶋守村立嶋守尋常高等小学校の卒業證書が、資料館にあります。「島守」ではなく「嶋守」とあります。大正4年の学校制度は、現在の1年生から4年生までが尋常小学校、5年生から6年生が高等小学校と呼ばれ、この6年間は義務教育でした。

地域とともに歩む島守小学校、永遠にあれです。
南郷歴史民俗資料館 古里 淳

収穫の秋

11月24日(金) 収穫感謝祭を行いました。今年度は、150周年記念式典との日にちも近いことから、昨年度までと内容を変更して行いました。全校児童で、水車小屋の復活でもお世話になった元沢正光様、外館左千夫様を講師に招いて繭玉作りを行いました。学校田で収穫した餅米で作ったお餅を、赤、緑の色をつけて水木に着けていきました。繭の様に付けていくのですがなかなか難しかったです。繭玉飾りとは、新しい年の初頭、小正月に、養蚕や農作物の安全、豊作を田畑の神に祈願した農村の伝統行事だそうです。そして、これをひなあられにしていたことも教えていただきました。

子どもたちは、手につくお餅を、「食べたいな～」と言いながら、楽しそうに繭玉を作っていました。

その後、学校田の指導をしてくださった谷川幸夫様にも来ていただき感謝の会を開きました。どうもありがとうございました。



読書の秋

11月21日~28日まで「図書館に行こう！キャンペーン」と銘打って、ブックビンゴを行いました。本を読んだらビンゴカードにスタンプをもらえて、ビンゴするとオリジナル手作りしおりをゲットできます。12月5日(火)には、南郷図書館の方を招いて読み聞かせを行います。

150チャレンジ

150周年を記念して子どもたちで考えたゲームで楽しみました。150秒間でマジックペンを何本積み上げられるかなど、頭を寄せ合い、声を掛け合い、励まし合いながら、仲間とのつながりを深めていきました。

